

さけ・ます資源増大対策調査事業（サクラマス）
 （サクラマス増殖実態調査）
 静 一 徳

目 的

サクラマス増殖技術向上のため、サクラマス親魚の採捕状況とサクラマス幼魚の放流状況を把握する。

材料と方法

老部川内水面漁業協同組合、川内町内水面漁業協同組合、追良瀬内水面漁業協同組合からデータ提供を受け、河川でのサクラマス採捕状況、採卵状況、採卵親魚の魚体測定結果、及び幼魚の放流状況を取りまとめた。

結果と考察

1. 老部川

2024 年は 9 月 8 日、9 月 15 日に雄 19 尾、雌 48 尾の計 67 尾のサクラマス親魚が採捕された（表 1、図 1）。10 月 3 日～10 月 15 日の間、雌 39 尾から 129 千粒を採卵した。採捕時に確認された標識は脂鱭カット、脂鱭+左腹鱭カットであった（表 2）。採捕親魚 67 尾の内、標識魚は 35 尾であった。

2023 年 9 月 25 日に老部川支流の中ノ又沢へ、脂鱭カットした 2022 年級幼魚を 60,000 尾放流した（0⁺秋放流、表 3）。2024 年 4 月 19 日にふ化場の人工河川から老部川本流へ、脂鱭+右腹鱭カットした 2022 年級 1⁺スモルト幼魚を合計 66,810 尾放流した（1⁺スモルト放流）。

表 1. 老部川のサクラマス親魚採捕と

採卵状況（2024 年）

月日	親魚採捕（尾）				採卵（尾）		
	♀	♂	不明	計	♀	♂	採卵数 (千粒)
9月8日	34	16	0	50			
9月15日	14	3	0	17			
10月3日					10	3	37.0
10月9日					16	3	48.0
10月15日					13	3	44.0
計	48	19	0	67	39	9	129.0

表 2. 老部川における採捕親魚標識部位別尾数と平均魚体サイズ（2024 年）

標識部位	尾数				平均尾又長 (cm) ±標準偏差		平均体重 (kg) ±標準偏差		由来
	♀	♂	不明	計	♀	♂	♀	♂	
無	25	7	0	32	58.0±4.6	54.3±2.3	2.2±0.6	1.6±0.5	野生魚 + 無標識放流魚
脂鱭カット	6	1	0	7	60.0±4.5	60.0	2.6±0.7	2.1	0 ⁺ 秋放流魚
脂鱭+左腹鱭カット	17	11	0	28	60.1±3.8	66.4±7.2	2.5±0.4	3.2±1.0	1 ⁺ スモルト放流魚
計	48	19	0	67	59.1±4.3	61.7±7.8	2.4±0.5	2.6±1.1	

表 3. 老部川における 2022 年級サクラマス放流結果

履 歴	採卵年	放流河川	放流場所	放流年月日	放流数 (尾)	放流魚体		標識部位	魚体測定機関
						平均尾又長 (cm)	平均体重 (g)		
遡上系	2022	老部川	中ノ又沢（中ノ又沢橋）	2023/9/25	30,000	9.6	10.5	脂鱭	老部川内水面漁協
遡上系	2022	老部川	中ノ又沢（北ノ又沢合流点）	2023/9/25	30,000	9.6	10.5	脂鱭	老部川内水面漁協
遡上系	2022	老部川	本流（人工河川）	2024/4/19	61,810	14.0	30.0	脂鱭+右腹鱭	老部川内水面漁協
遡上系	2022	老部川	本流（人工河川）	2024/4/19	5,000	14.0	30.0	脂鱭+右腹鱭	老部川内水面漁協

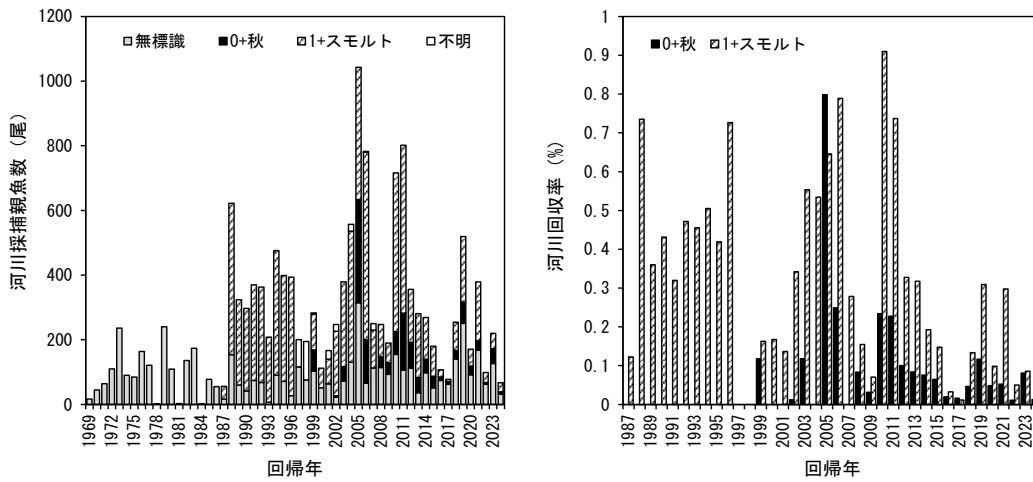


図 1. 老部川におけるサクラマス親魚の採捕数と回収率の推移（由来別）

2. 川内川

これまでの標識放流結果から、川内川における 1+スモルト放流の河川回収率は 0+秋放流と同等か下回ることから（図 2）、費用対効果を考慮した結果、2023 年をもって川内川における 1+スモルト放流は終了し、0+秋放流に集約することとなった。また 2024 年の 0+秋放流をもって、川内町内水面漁業協同組合のサクラマスふ化放流事業が終了することとなり、2024 年の親魚採捕は実施されず採卵も無かった。

2023 年 10 月 20 日、10 月 27 日に川内川の本流と支流の八木沢へ、脂鱭カットした 2022 年級幼魚を合計 45,000 尾放流した（0+秋放流、表 4）。

表 4. 川内川における 2022 年級サクラマス放流結果

履歴	採卵年	放流河川	放流場所	放流年月日	放流数 (尾)	放流魚体		標識部位	魚体測定機関
						平均尾又長 (cm)	平均体重 (g)		
池産系	2022	川内川	八木沢	2023/10/20	20,000	11.1	14.3	脂鱭+右腹鱭	川内町内水面漁協
池産系	2022	川内川	本流	2023/10/27	25,000	11.4	13.9	脂鱭+右腹鱭	川内町内水面漁協

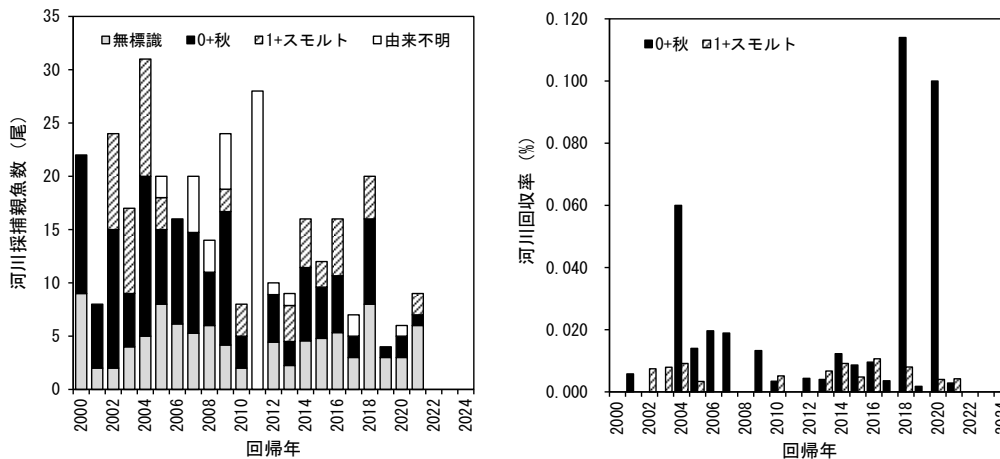


図 2. 川内川におけるサクラマス親魚の採捕数と回収率の推移（由来別）

3. 追良瀬川

2024 年は 4 月 30 日～6 月 29 日に雌雄不明 43 尾のサクラマス親魚が採捕された（表 5、図 3）。10 月 16 日～11 月 5 日の間、雌 23 尾から 76 千粒を採卵した。採卵時に確認された標識は脂鱭カットのみであった（表 6）。24 尾調べた内、標識魚は 4 尾であった。

これまでの標識放流結果から、追良瀬川における 1+スモルト放流の回帰率は 0+秋放流と同等か下回るこ

とから（図 3）、費用対効果を考慮した結果、2023 年をもって追良瀬川における 1+スモルト放流は終了し、0+秋放流に集約することとなった。

2023 年 11 月 24 日に追良瀬川本流と支流オサナメ沢へ、脂鱸カットした 2022 年級幼魚を合計 58,000 尾放流した（0+秋放流、表 7）。

表 5. 追良瀬川のサクラマス親魚採捕と

採卵状況（2024 年）

月日	親魚採捕（尾）				採卵（尾）		
	♀	♂	不明	計	♀	♂	採卵数 （千粒）
4月30日	0	0	3	3			
5月1日	0	0	1	1			
5月3日	0	0	3	3			
5月5日	0	0	3	3			
5月10日	0	0	1	1			
5月11日	0	0	2	2			
5月12日	0	0	1	1			
5月14日	0	0	2	2			
5月15日	0	0	3	3			
5月20日	0	0	3	3			
5月21日	0	0	1	1			
5月24日	0	0	3	3			
5月26日	0	0	3	3			
5月28日	0	0	1	1			
6月3日	0	0	3	3			
6月4日	0	0	1	1			
6月6日	0	0	1	1			
6月7日	0	0	1	1			
6月8日	0	0	2	2			
6月29日	0	0	5	5			
10月16日					9	5	29.0
10月23日					5	5	19.0
10月31日					5	5	15.0
11月5日					4	6	13.0
計	0	0	43	43	23	21	76.0

表 6. 追良瀬川における採捕親魚標識部位別尾数と平均魚体サイズ（2024 年）

標識部位	尾数				平均尾又長（cm）±標準偏差		平均体重（kg）±標準偏差		由来
	♀	♂	不明	計	♀	♂	♀	♂	
無	13	7	0	20	53.6±3.4	50.4±6.1	1.9±0.4	1.5±0.6	野生魚 + 無標識放流魚
脂鱸カット	3	1	0	4	62.3±5.9	49.0	3.1±1.1	1.1	0+秋放流魚
計	16	8	0	24	55.3±5.1	50.3±5.7	2.1±0.8	1.4±0.5	

表 7. 追良瀬川における 2022 年級サクラマス放流結果

履歴	採卵年	放流河川	放流場所	放流年月日	放流数 （尾）	放流魚体		標識部位	魚体測定機関
						平均尾又長 （cm）	平均体重 （g）		
海産系	2022	追良瀬川	本流（漁協近く）	2023/11/24	8,800	10.2	10.8	脂鱸	追良瀬内水面漁協
海産系	2022	追良瀬川	オサナメ沢	2023/11/24	12,000	9.8	10.5	脂鱸	追良瀬内水面漁協
海産系	2022	追良瀬川	本流（漁協近く）	2023/11/24	21,300	9.8	10.5	脂鱸	追良瀬内水面漁協
海産系	2022	追良瀬川	本流（漁協近く）	2023/11/24	7,400	10.6	11.0	脂鱸	追良瀬内水面漁協
遡上系	2022	追良瀬川	本流（漁協近く）	2023/11/24	8,000	10.3	11.2	脂鱸	追良瀬内水面漁協
池産系	2022	追良瀬川	本流（漁協近く）	2023/11/24	500	10.0	11.2	脂鱸	追良瀬内水面漁協

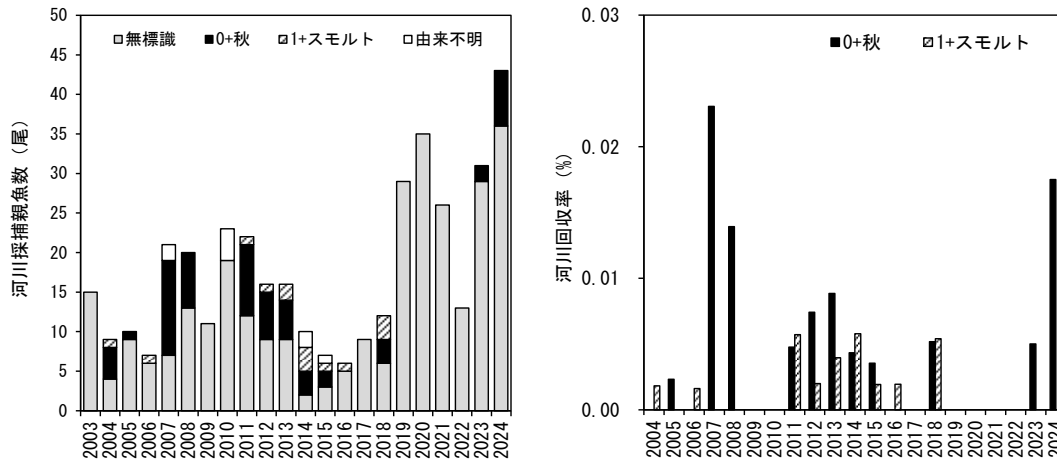


図 3. 追良瀬川におけるサクラマス親魚の採捕数と回収率の推移 (由来別)

謝 辞

現場での作業やデータ提供にご協力いただいた老部川内水面漁業協同組合、追良瀬内水面漁業協同組合、川内町内水面漁業協同組合に御礼申し上げます。